

< 記入例 > 海外特許出願

(様式 1)

平成 21 年度 S I B A 海外市場開拓支援補助金交付申請書

平成 21 年 月 日

社団法人 静岡県国際経済振興会
会長 伊藤 修二 様

会社名 株式会社静岡国際経済
代表者 代表取締役 静岡 太郎



平成 21 年度において下記の事業を実施したいので補助金を交付されるよう申請致します。

1. 実施事業概要

海外特許出願

2. 事業実施に要する経費内訳 (単位：円，外貨建の場合は円換算し記入)

項目	金額	費用明細・補足
外国出願手数料	226,000	基本手数料 116,000円 調査手数料 97,000円 送付手数料 13,000円
弁理士費用	320,000	基本手数料 180,000円 翻訳料 110,000円 図面作成料 30,000円
現地代理人費用	260,000	20,000円 × 13
合計	806,000	

3. 事業の目的

コスト競争の激化・景気低迷により国内出荷が減少してきており、生産数量確保が難しくなっています。こうした状況下、海外顧客獲得に目を向け、輸出を一層進めたいと考えている。特に中国市場はマーケットとして非常に魅力的で、今後の需要増が期待される場所である。しかしながら、同国での模倣品が相当程度増加しており、当社製品のマーケットシェアおよび企業イメージに対する悪影響が懸念される。そこで、主力製品の 〇〇 の技術について特許を取得し、収益確保と企業イメージの保護を図る。

4. 事業の効果

売上増加，収益確保

新市場開拓により、まずは売上高 対前年比 15% 増を目指す。-----。

-----。売上高 15% 相当の出荷高は 〇〇 で当社生産設備体制を考

< 記入例 > 海外特許出願

慮するところの水準が妥当。また、3記載の通り、特許取得により、収益確保を図る。
製品PR，企業イメージ保護

同国での特許取得の当社製品に関するイメージアップおよび宣伝効果は大きい。また、同様の製品がトラブルを起こした場合の企業イメージダウンを避ける。

5. 製品の特長

当社製品の特長は別添のカタログや参考記事に記載の通り、 の点で非常に優れ、高い評価を得ている。今回海外特許出願を予定している技術は既に国内特許取得済。

-----。

-----。また、この技術に関しては や××にも応用が可能で今後の開発で の分野にも進出していくことを検討している。

6. 最近 5年間に実施した海外関連事業

なし

7. 現在の海外取引状況・海外事業所 (現地法人・支店・駐在員事務所)

なし

8. 今後の海外事業に対する取組方針

本格的な海外展開をしていくため、昨年 10月に国際部を創設。海外専担者を置くことで社内体制の拡充に努めている。今後の受注拡大の動向により、現地事務所の開設も検討していく。

9. 会社概要

創 業	平成元年 (1989年)
代 表 者	代表取締役 静岡 太郎
資 本 金	5,000万円
年 商	10億 8,500万円
従 業 員 数	75名 (平成 16年 5月 1日現在)
所 在 地	〒 420-0853 静岡市葵区追手町 44-1 TEL: 054-254-5161 FAX: 054-251-1918
事 業 内 容	製造
主要取引先	株式会社ABC，XYZ株式会社
沿 革	1951年 静岡 製作所として旧清水市で創業。 1959年 静岡 製作所株式会社設立、資本金XX万円。 1979年 工場開設。

< 記入例 >

海外特許出願

	1988年 株式会社静岡国際経済に名称変更。 1989年 現在地に本社移転。 現在に至る。
--	--

10. 連絡先

部署名：国際部 役職名：部長 氏名：静岡 二郎

〒：420-0853

所在地：静岡市葵区追手町 44-1静岡産業経済会館 4階

TEL: 054-254-5161 FAX: 054-251-1918 E-mail: sibanet@siba.or.jp

11. 添付資料

- ・直近 3ヵ年の決算書 (B/S, P/L) 各 1部
- ・会社案内 1部
- ・商品カタログ・パンフレット等 各 1部
- ・特許の内容の判る書類
- ・